



キッズ・パレード 10/27 (土)



参加数：約1500人

ハロウィン・パレード 10/28 (日)



参加数：約2200人

1) キッズパレード

開催日 : 10月27日(土)

就労体験参加者 : 合計 45名(障害当事者 29名、施設職員 10名、ピープルデザイン 6名)

パレード参加者 : 1組2名(歩行補助器具使用の一般申込者)

※車イスユーザーキッズ 3組6名 リーダー親子の体調不良のため3組とも欠席)

開催概況 :

- 就労体験では、キッズパレードの随行警備、定点警備、梅雨払い、お菓子配りを担当。事故やトラブルなど無く無事に終了した。
- 当日は身体・精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々が参加。視覚障害者の白杖使用者も参加し、梅雨払いのスタッフとして、パレードを先導した。
- 当就労体験は、参加者には毎年大変好評。普段子供と接する機会があまりない彼らにとって、貴重な経験となった
- キッズパレード参加者は、事前に3組6名の方が参加予定だったが、リーダー親子の体調不良により、全員が欠席となってしまった。
- 感想は別ページ参照。

2) メインパレード

開催日 : 10月28日(日)

サポートインフォメーション : 合計 3名

(暮らしの保健室 先生1名、看護師1名、弊研究所スタッフ1名)

車椅子ユーザーパレード参加者 : 合計 30名(うち付き添い 12名)

ダウン症ダンスチーム参加者 : 合計 50名(うち付き添い 12名)

※車椅子ユーザー2組と盲導犬ユーザー1名は体調不良により欠席

開催概況 :

- サポートインフォメーションでは、怪我の対応の準備もしたが、当日怪我対応はなかった。来街者でたまたまインフォメーションの近くで倒れた方がいらっしゃり、すぐに医師と看護師がかけつけ、救急車を呼ぶまで対応した。
- 当日はケンスタさんとの連携もとれ、臨機応変に対応して頂いたため、隊列にスムーズに合流できた。
- 感想は別ページ参照。

就労体験参加者の感想：

- ・ 以外に子供に対して優しく対応できた。疲れたが達成感を感じた。（２０代 男性／知的障害）
- ・ 適応したり対応したりする能力を自分が知らないだけで、持っているのかも、と思うことができた。（２０代 女性／精神障害）
- ・ 子供達がかわいく充実した時間を過ごすことができました。（３０代 男性／精神障害）
- ・ カワサキハロウィンというイベントが好きなので、スタッフとして関わられて嬉しかった。（３０代 女性／ひきこもり）
- ・ 子供たちに「ありがとう」といわれてうれしかった。（２０代 女性／知的障害）
- ・ いつものような“守られた”環境の中ではなく、一般社会の中で責任を持って仕事をする事で、自信を持ち今後において希望を持てたと思う。（２０代 女性／施設職員）
- ・ 利用者さんの普段見れない姿を見れた。（３０代 男性／施設職員）



カワサキハロウィン 2018 報告書



＜参加者感想＞

- ・人混みが得意でないため、普段は参加しやすいイベントを選んで参加している。
参加した方が一体感があると思った。歓迎されている感じが良かった。
- ・混みの中、車イスでの移動は周りに迷惑かと思って、今まで観客としても参加できなかった。
当日は場所や導線などの配慮をして頂きとても助かった。歩行者と混ざると目線、スペースとも異なるので、押しのけられる気分になりますが、今回はそういうこともなく、楽しめた。また来年も参加したい。
- ・障害があってもできることをやりたいと思い参加した。運営スタッフが良く下調べをしてくれて、当日もサポートが手厚く、感心した。
- ・WHILLなどの車椅子で、実際の道路を長時間乗れることは価値がある。結構動かしがいがある。
川崎の街は思ったよりも縁石の段差があった。
- ・スタッフが熱心で、参加する関心が高まった。参加者とスタッフが一緒に楽しめる感覚を感じた。
- ・ハロウィンに興味がなかったが参加して楽しかった。やりがいがある。達成感がある。
- ・中原区在住だがハロウィンパレードをやっているのを知らなかった。楽しかった！
- ・ハロウィンパレードは、毎年参加していたが、昨年、脳こうそくで倒れて、半身不随となった。
今年、初めて「車いす」での参加となり、とても不安だったが、スタッフの皆さま方の手厚い「ヘルプ」に依りとても快適に参加することが出来きとても感謝している。
- ・初パレードでしたが、沿道の観客に手を振ると返してくれるのが新鮮で楽しかった。
- ・駐車場を確保していただくのは大変助かる。参加意欲に繋がる。
控え室（更衣室）の広さも十分でした。多目的トイレについても詳細に調べていただいたので、安心だった。

- ・カワサキハロウィンは、共に楽しさを分かち合える場として、共生を具現化している、素晴らしい。パレーダーの一人として参加できたことは、とても意義深い。障害の有無で分けがちであるが、多様なパレーダーや観客とも一体となる感じは、共生とはどうあるべきかを示しているように感じた。
- ・8000人のパレーダーの中を混乱もなく誘導していただいた、ピープルデザインおよび川崎市、主催のチッタ エンタテインメントの皆様心から感謝いたします。来年も仮装をパワーアップして参加したいと思う。
- ・初めてパレードに参加して多くの人と接することができとても楽しかった。健常者の方とのつながりや意見の共有ができたことでパレードに参加できて本当に良かったと思う。
- ・目的地等への案内や気軽な声かけを頂いたこともあり、1日不安や心配なく過ごすことができた。
- ・事前連絡を早めに頂いたことにより無理なくスケジュールや準備を行うことができた。
- ・川崎はとっても活気に溢れた街だと再確認することができた。またこのパレードを行うにあたって多くの人の協力や積極的な行動があって成り立っているものだと感じることもできた。
- ・あれだけ大規模な行事に健常者、障害者関係なく一緒になって参加できるものが存在するのはとても素晴らしいことだと思う。また日々の生活で障害者であっても自らの声や行動を示すことで何か変われるような気がすると思った。一方障害者と健常者が同じ行動をとっているつもりでも「頑張れ」という言葉が聞こえた。私の考え過ぎかもしれないが、健常者には言わず、障害者にだけ「頑張れ」という言葉をかけるのは違うと思う。東京五輪が控えている時だからこそ、近いうちにいつの日か、健常者も障害者もお互いが気持ちよく、共存でき、助け合える社会になってもらえたらと思う。
- ・ハロウィンなるものは全く別世界のイベントで私には接点が1mmもないものだと考えていたが、今回の企画のおかげで、まさかのパレード参加という体験をさせていただき大変楽しい時間を過ごさせていただいた。
- ・帰りの駅で電車の乗車を手伝ってくださった駅員さんに「パレードに参加してきました。」とお話ししたところ「楽しかったんでしょうね。そういう顔をしていますよ。」と言われてしまった（笑）。よほど緩んだしていたのだろと恥ずかしくなったが、「最高に楽しかったですよ。」と駅員さんに素直に言えた。本当に貴重なとても楽しい体験をさせていただきありがとうございました。

カワサキハロウィン 2018 報告書



カワサキハロウィン 2018 報告書





カワサキハロウィン 2018 報告書



カワサキハロウィン 2018 報告書





車いす・ベビーカー専用パレード観覧スペース（3カ所設置）



インフォメーション（5カ所設置）



サポート・インフォメーション（障がい者ケアなど）



外国人専用パレード観覧スペース